

リーシング・マネジメント・コンサルティング 都心5区で家賃坪単価を調査

5カ月連続で前年同月上回る



リーシング・マネジメント・コンサルティング
(東京都港区)
齊藤晃一社長(46)

賃貸住宅のリーシングに関わる調査や提案などを行うリーシング・マネジメント・コンサルティング(東京都港区)は同社の調査レポート「2023年4月末時点 都心主要5区賃貸マンション坪単価推移・礼金推移」を5月31日発表。

同調査は東京都中央

区、港区、渋谷区、新宿区、千代田区の5区に所在する築10年以内のRC造、またはSRC造の賃貸マンションを対象に毎月調査を行い、推移を記録しているものだ。

今回の調査結果によれば、都心5区にあるマンションの家賃の1坪あたりの平均単価は、22年12月～23年4月の5カ月連続で、5区ともに前年同月の数値を上回った。特に伸びの大きい港区で22年4月比で23年4月は、1坪あたり13551円の上昇となっている。

礼金は、22年4月比で中央区、港区、渋谷区、新宿区で平均0・1カ月分ほど上昇。千代田区は下落している。

齊藤晃一社長は「東京都が発表している人口推移を見ても、5区とも23年4月は22年4月比で0・5～2割ほど人口が増加している。属性は主に単身者の転入が目立っている。都心部はLDK以上の間取りの賃貸マンションは供給が少なく、引き続き「二スは高い」と話した。